



# Super Build / SS3

## 有限会社テイクトゥケー

http://www.taketok.com/

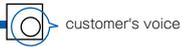
東京都杉並区上荻 2-19-18 RK2 ビル 6 階  
Tel : 03-6915-1802 Fax : 03-6915-1803

### 【業務内容】

- 建物・構造物の新築、増改築、解体、修繕、各工事の設計、建物の耐震診断・補強設計



北川 健人 様



## 『SS3』へ乗り換えるための苦勞がありませんでしたね。

### ■ 事務所の概要を教えてください。

所員数 5 名、平均年齢 31 歳で構造設計を専門に行っています。私自身 28 歳で独立し、会社を設立して今年で 9 年目になります。最近、耐震診断や耐震補強が仕事の半分を占めています。あと 1～2 割は現場管理をしています。

### ■ 独立後の状況を教えてください。

独立前に N 社の一貫ソフトを利用していただけの流れから、独立後も N 社の一貫ソフトを利用していました。世間一般でも、ほとんどの方が N 社のソフトを利用していると思っていました。ところが、独立後いろいろな方とお話をしてみると、「ユニオンというのがあるよ」と言われて「何だ！それは！」となりましたね。所員の立場では、他の構造事務所の方と交流することがありませんでしたが、自分が一番上になってみると情報の入り方が全然違うなと感じました。

### ■ ご利用のきっかけを教えてください。

大きなプロジェクトを何社か共同で設計する案件がありました。そのとき、他の事務所はすべて『SS3』を利用していました。私はそのとき、「正直、聞いたことがない」と言いました。そうすると皆さんが「世間はほとんどユニオンを使っているよ」、「確認申請、大変でしょ！」と言われました。その後『SS3』の計算書を見せてもらいました。私が「追加検討の量があまりにも少なすぎるけど、本当に大丈夫なの？」と言ったら、「それは N 社の一貫ソフトだから多いのだよ」と言われました。N 社で一番苦勞したのは、疑問を出して回答いただいたものを蓄積してようやく自ら使えるプログラムにしたことでした。したがって一貫ソフトを新たに導入するときは、「またあの苦勞を 1 から体験しないといけないのか」という恐怖感で二の足を踏んでいました。その話を『SS3』を使っている方に相談すると「いやいや、質問と回答は Web サイトの Q&A ページにほとんど出ているから、大丈夫だよ」と言われ驚きました。今まで N 社のソフトを使いこなすために苦勞したことは一体何だったのか！と思いましたね。結局、『SS3』を導入しましたが、今では手放せなくなっています。

以前は、N 社の方に来ていただいて、質問を持ち帰っていただいて、後日回答がきていました。それが世間一般では当たり前だと思っていました。そのため、大手と個人では情報量の差や組織力の差が能力差になると感じていました。しかしユニオンの場合は、Web サイトでの情報やサポートセンターなどが充実しているため、大手と個人の差はあまり感じられませんでした。N 社の場合は社内用のマニュアルをきちんと作成しないと使えませんでしたが、ユニオンの場合はマニュアルがきちんと整備されているため、その必要性を感じませんでした。『SS3』へ乗り換えるための苦勞がありませんでしたね。

印刷	カテゴリ	質問内容
<input type="checkbox"/>	SS3 > 入力 > 特殊荷重	加力方向に直交する荷重を入力したい [9.15応力計算用特殊荷重配置]で、加力方向に直交する荷重を入力することはできますか？
<input type="checkbox"/>	SS3 > 入力 > 断面算定	配筋情報を削除せずに選定計算を行いたい 既記に符号ごとに配筋入力していますが、配筋情報を削除せずに選定計算を行うことはできますか？
<input type="checkbox"/>	SS3 > 入力 > 剛性	片側（右上がりまたは右下がり）ブレースで引張のみ有効とする方法について 片側（右上がりまたは右下がり）ブレースで引張のみ有効とする方法について教えてください。
<input type="checkbox"/>	SS3 > 入力 > 断面算定	高筋としたときの鉄筋本数の入力について 下図のように各方向高筋とした配筋の場合、鉄筋本数は各方向何本入力しますか？
<input type="checkbox"/>	SS3 > 入力 > 剛性	長期時（固定+積載荷重時）にブレース軸力を負担させないようにしたい 長期時（固定+積載荷重時）において鉄骨ブレースに軸力を負担させ

▲ Q&A 検索結果画面

より快適に安心してご利用いただくために  
**ソフトウェアサポート**

- ✓ お問い合わせは即日対応
- ✓ 電話・Webサイト・Faxからお問い合わせ可能
- ✓ サポートセンター専風のスタッフが常駐
- ✓ 親切・丁寧に対応
- ✓ Q&Aは2,000題以上
- ✓ 講習会を定期的に開催
- ✓ 1984年から27年間の運営実績

▲ ソフトウェアサポート

